長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	047　　－	事業名	生涯学習推進事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課

基本情報

第5次総合計画・基本方針	✔ 文化をみがき、人が輝くまち	会計区分：一般会計
まちづくり行程表・フラッグ	—	予算区分（款 － 項 － 目）
第6次総合計画・基本目標	✔ 「やってみたい」でつながるまち	9-4-1 社会教育総務費
法定受託事務の有無	—	
その他（関係計画、要綱等）	✔	社会教育法第5条6・10・13・15、第2次長久手市生涯学習基本構想、ながくて・学び・アイ講座運営要綱
事業開始の背景、経緯等	公民館講座：昭和57年度以前～、ながくて・学び・アイ講座：平成20年度試行、平成21年開始 市民大学：平成26年度～、土曜英語学習事業：平成28年度～、囲碁講座：平成30年度～	

事業目的等

事業内容	（どのような事業なのか） 長久手市公民館講座において、第2次長久手市生涯学習基本構想に基づき、「自主的な学習を支援する」「学習の内容を充実する」「学習機会を提供する」「学習の情報提供を充実する」「学習の場を充実する」を目標とする。
事業対象	（誰、何を対象にしているか） 市内在住、在勤、在学の人（講座によっては、講座開講が確定しているもので、一定期日にまでに募集定員に満たなければ市外の人も可）
事業意図	（対象をどのような状態にしたいか） 公民館において、様々な講座を開催することにより、学習の機会を提供し、講座の中で興味を持つジャンルを見つけることで、市民が集まり、交流できるきっかけづくり、つながりづくりを行う。

事業を構成する事務事業（B票）				
①	生涯学習推進事業	改善・見直し	④	
②			⑤	
③			⑥	

コスト推移

項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
事業費(A)	千円	予算	599	1,252	1,926	1,689	1,689
		決算	616	1,153	1,632	1,222	
人件費(B)	千円	決算	2,979	2,979	5,236	4,878	
総コスト(A)＋(B)	千円	決算	3,595	4,132	6,868	6,100	

成果推移

成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
A　全講座の平均満足度	%	目標	—	—	85	85	85
		実績	—	—	83.7	86.8	
B　学び・アイ講座数に対する開講講座の割合	%	目標	90	80	80	80	80
		実績	69.2	75.6	56.8	60.6	
C　新規サークル	団体	目標	15	15	15	15	15
		実績	9	9	12	8	

【指標の説明】（指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など）

A　前年度実績を上回るように目標設定する。

B　前年度実績を上回るように目標設定する。

C　新規サークル15団体の成立を目指す。

環境変化

他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	（他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など） ・市内に点在する史跡を巡る講座や市内の大学と連携した講座など地域の資源を生かした講座を実施。 ・近隣の尾張旭市、瀬戸市、日進市、豊明市で講師募集型講座を実施。

評価

目標達成状況	（成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など） ・全講座の平均満足度は目標の85%に届かなかった。 ・学びアイ講座の開講率は目標の80%に届かなかった。 ・新規サークルについては目標の15団体に届かなかった。
過去5年間の振返り	（過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振返り） ・全講座の満足度は、ほぼ横ばいの状況であった。 ・学びアイ講座の開講率は、伸び悩んでいる状況であった。 ・新規サークルについては、H30年度は減少した。
事務事業全体を見た課題	（構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理） ・受講生のアンケートでの意見や満足度を参考にして、今後の講座内容を検討する。 ・チラシの内容について分かりやすいものにする。 ・継続した生涯学習を推進するために、サークル活動の実践を講座の中で案内する。

今後

今後の方向性	（事業の成果を高めるための事務事業の方向性） ・公共施設に設置するチラシの活用等広報の方法を検討する。 ・講座終了後も自主的にサークルを立ち上げ活動できるよう講座の中で学習サークルの設立案内等を行う。
中長期の目標	（いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか） 講座終了後の学習活動の継続を促し、自主的な学習を支援していく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・他課が実施する類似講座等との統合を検討してください。 ・生涯学習事業について、他の生涯学習事業（講座）との連携（統廃合など）を検討してください。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	生涯学習推進事業		担当部課	くらし文化部生涯学習課	決算書ページ	―
事務事業名	①	生涯学習推進事業	予算区分	9-4-1 社会教育総務費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	昭和57年度(1982年度) 以前	終了（予定）年度	―		

1.事務事業の目的

対象・手段	（誰、何に対し、何をどのように実施しているのか） ・小学校1、2年生：土曜日の英語学習を企画・実施 ・18歳以上：市内在住、在勤、在学の方を対象に各種講座を実施し、参加者同士が交流しながら楽しく学ぶ機会を提供する。大学連携講座では大学における専門的な知識を市民に伝えるとともに研究成果を社会へ還元する。 （全て原則、市内在住・在勤・在学）
意図	（対象をどのような状態にしたいか） 市民の生涯学習への関心を高め、交流する楽しさを知るきっかけづくりとし、生きがいと居場所づくりを推進する。また、子どもたちに豊かな学習機会を提供する。

2.コスト推移

項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
事業費	千円	予算	599	1,252	1,926	1,689	1,689
		決算	616	1,153	1,632	1,222	

＜備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）＞

(1) 公民館講座講師料	793 千円
(2) 土曜学習事業委託	429 千円
(3)	千円

3.活動推移

活動指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
講座参加者数	人	見込	740	500	560	590	500
		実績	498	552	587	498	
開講した学びアイ講座	講座	見込	35	28	35	15	25
		実績	27	31	25	20	

＜備考：活動の概要（30年度(2018)）＞

市内在住、在勤、在学の人（講座開講が確定しているもので、期日までに募集定員に満たなければ、市外の人も可）を対象に各種講座を実施し、参加者同士が交流しながら楽しく学ぶ機会を提供する。H30年度は史跡巡り講座、浴衣着付け講座、パソコン講座（4講座）、大学連携講座（2講座）、囲碁講座等を行った。

4.事務事業を取り巻く環境変化

（制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など）

自主的な生涯学習の推進のため、ながくて・学び・アイ講座で開講が可能であると思われる講座は、公民館講座として開講しないこととする。

5.前年度からの改善状況

(1)財政状況

（前年度【予算額】）	（今年度【予算額】）	（増減額）
1,689 千円	1,689 千円	0 千円

(2)前年度の評価状況《参考》

・前年度【今後の方向性】	改善・見直し

・前年度【コメント】

・サークル成立数は伸び悩んでいる。平成30年度はチラシや広報、HP等でもサークル活動案内を行うことにより、成立数の増加を目指す。
・講座参加者数が30年度は前年度より大きく減少した。HPやチラシ等、広報の方法を検討し、講座参加者数の増加を目指す。

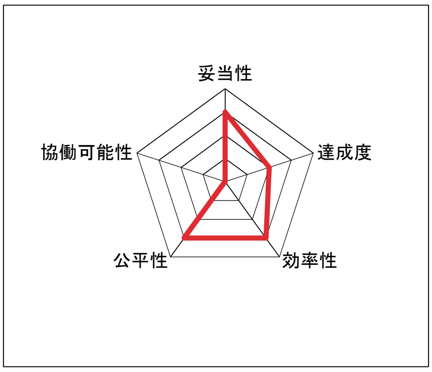
(3)改善状況

（何をどのような状態に改善したのか）

受講者の学びの継続、つながりづくりの大切さを話し、講座から派生するサークルの育成のＰＲを実施している。平成３０年度は、８サークル成立した。

6.評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働可能性	―



【協働可能性について】

(1)市民参加の延べ人数（人）

区分	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
見込	―	―	―	―
実績	―	―	―	―

(2)協働の状況（30年度(2018)）

（協働で取り組んだこと、評価できない理由など）

市民協働する事業でないため、評価できない。

【活動エピソード】

（活動のエピソード、コメント、特記事項など）

受講者の学びの継続を推進するため、講座から派生するサークルの育成のＰＲを実施している。

【改善ポイント】

（改善が必要なこと、改善の方法など）

講師から受講生への一方的な講義ではなく、講師も互いに講義の仕方などを学ぶことができるような仕組みを作る必要がある。

7.今後の方向性

改善・見直し